

米田の卒業・在籍した大学について（メモ）

（2014年5月20日作成・公開）

1. 米田が滞米中に卒業・在籍した大学について、筆者は1999年に発表した論文「国際問題評論家の先駆・米田實—その経歴・人物・言説—」『政治経済史学』第393号において、「オレゴン州立大学」「アイオワ州立大学」「カリフォルニア州立大学」とした。これは米田本人が存命中に自筆で記した履歴書から、そのまま転記したものである。
2. しかし、彼が卒業・在籍したthe University of Oregon, the University of Iowa, the University of Californiaは、今日では「オレゴン大学」「アイオワ大学」「カリフォルニア大学」と訳されるのが通例となつてゐる。しかも複雑なことに、「オレゴン州立大学」「アイオワ州立大学」「カリフォルニア州立大学」は、今ではそれぞれ、まったく別の大学（Oregon State University, Iowa State University, California State University）の名称として使用されてゐる。
3. そこで今後は誤解を招かぬやう、米田の卒業・在籍した大学は「オレゴン大学」「アイオワ大学」「カリフォルニア大学」で統一することにした。また併せて、これまでに発表した拙稿において「～州立大学」と記したものについては、それぞれ正誤表や補足情報に付記をし、この点を明確にすることにした。
4. ~~なほ関連して「米田がカリフォルニア大学大学院に在籍した年度」についても補足しておきたい。上掲の論文「国際問題評論家の先駆・米田實」の3頁において、筆者は次のやうに記してゐる。
➤さらに一九〇四（明治三七）年から〇六年まで、カリフォルニア州立大学大学院に籍を置き、研究➤を続けた。
そして、その典拠として註(9)を付し、「カリフォルニア州立大学への、筆者の問合せに対する回答による」とした。~~
5. ~~ところが今回、当時の電子メールの記録などを再確認したところ、カリフォルニア大学からの回答の中に、上記の事実を裏づけるような内容が含まれてゐないことが判明した（具体的にいふと、当時のUCバークレーの学籍簿からは米田の在籍が確認できない、とのこと）。~~
6. ~~これは筆者が、上記の論文を執筆する時点で情報を取違へるなどのミスをしたのか、それとも、1999年当時は上記の記述を裏づける資料を持つてゐたものの、その後、何らかの事故により資料を紛失したのか、なにしろ17年前のことだけに、筆者自身の記憶も曖昧である。~~
7. ~~しかし少くとも現在の時点で、上記の記述を裏づける史料が筆者の手元にはないことは事実である。よつていつたん、この部分の記述については撤回し、あらためて後考を俟つことにしたい。今後、拙稿を引用される場合は、いまいちどカリフォルニア大学に在籍の記録を問合せるなど、細心の注意を払はれたい。~~

以上

上記4.～7.については再調査の結果、カリフォルニア大学アーカイブ担当者からの電子メール（1998年3月2日付）により、米田が1904/05年度と1905/06年度の2か年度にわたり、UCバークレーの大学院に在籍してゐたことが判明した。よつてこの部分については取消したい。（2021年2月22日追記）